

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成17年 12月27日	
		作成部署	道路総括室	
事業名	都市計画道路 宇治淀線 街路事業	構想番号	(土・道計) 構-17-1	
		地区名	宇治市広野町地内	
概算事業費	27億円	事業期間	7年	
事業概要	L=450m W=6.0 (18.0) m、段階施工区間W=6.0 (13.5) m			
関連する公共事業	準用河川名木川河川改修			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	<p>地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系</p> <p>など</p>	<p>・現道は、JR踏切や交差点での渋滞が慢性化しているため、自動車によるCO₂の排出量が多いことから、CO₂を減少する必要がある。</p>	<p>・JRと立体交差する都市計画道路への交通分散を図ることで、交通を円滑化することにより、CO₂の総排出量を削減させる。</p>	○
生活環境	<p>水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照</p> <p>など</p>	<p>・現道は交通量が多く、騒音、排気ガス等により沿線の生活環境への悪影響が著しいため、交通の集中による慢性的な渋滞を解消させるなどの、環境改善を図る必要がある。(NO₂、SPM、騒音が環境基準を超過) ・計画路線は人家連坦地を通過するため、騒音・振動等沿線に与える影響を抑制する必要がある。</p>	<p>・渋滞を緩和させ、交通の円滑化による排気ガス排出量を総量として削減するとともに、現道沿線の騒音・振動等を軽減するなど生活環境の改善を図る。</p> <p>・高機能舗装等の使用により、沿線に与える騒音などの影響を抑制する。</p>	△
地域個性・文化環境	<p>景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働</p> <p>など</p>	<p>・近鉄大久保駅、JR新田駅に近接した地域で、密な市街地を形成しており、商業および住宅地として利用されているため、視界を遮るような、立体構造物の築造をさける。</p>	<p>・良好な都市景観を維持するため、JRとの立体交差部については、視界を遮る陸橋案ではなく、地下道案を採用する。</p>	△
地域の環境像	<p>計画路線周辺には、近鉄大久保駅、JR新田駅があり、広域拠点としての機能が重要視されるとともに、周辺には学校及び住宅が多いため、良好な生活環境と都市景観の確保が必要である。</p>			
特記事項	なし			